

# 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン (年1回決算型)

愛称：花こよみ年1

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2018年4月21日～2019年4月22日

第 6 期 決算日：2019年4月22日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、  
相対的に利回りが高い国の債券に実質的な投資を行い、利子  
収益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご  
報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運  
用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第6期末 (2019年4月22日)

基準価額	11,232円
純資産総額	11,418百万円
騰落率	+5.7%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、  
以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、  
販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第6期：2018年4月21日～2019年4月22日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第6期首	10,624円
第6期末	11,232円
既払分配金	0円
騰落率	5.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.7%の上昇となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、米国やオーストラリアの金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年4月21日～2019年4月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	131	1.194	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 65)	(0.597)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 59)	(0.543)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.020	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	133	1.214	

期中の平均基準価額は、10,948円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

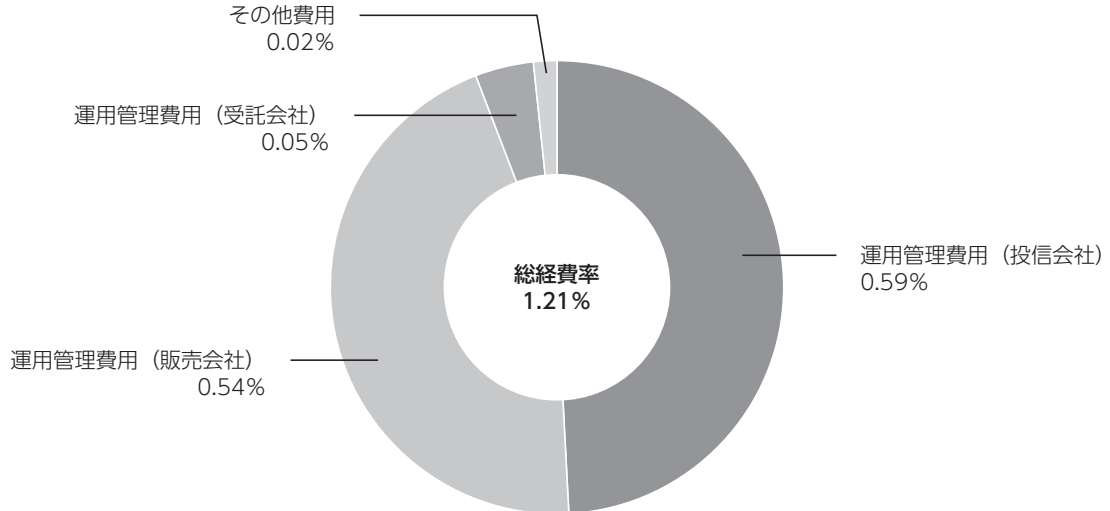
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.21%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

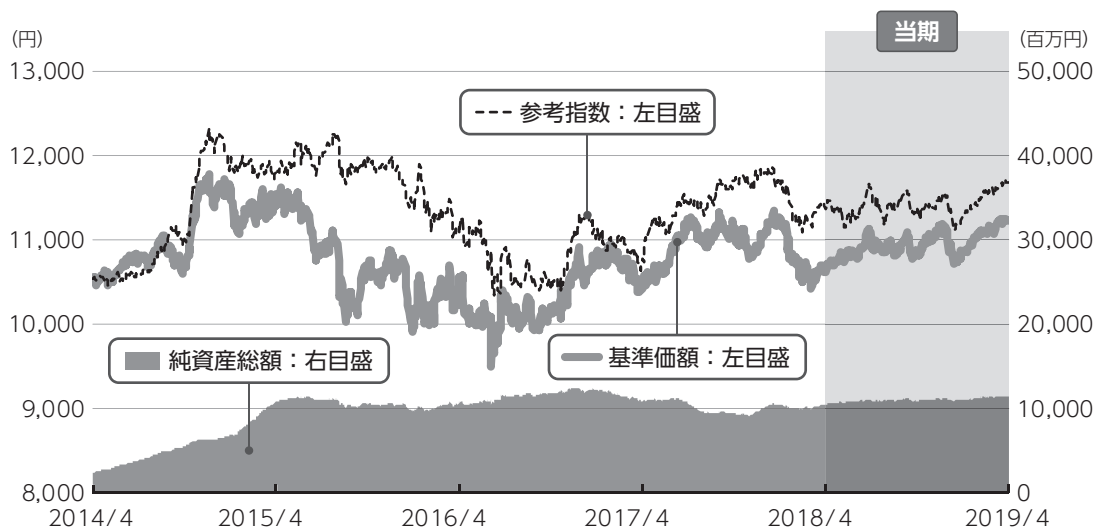
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年4月21日～2019年4月22日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※参考指数は、2014年4月21日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

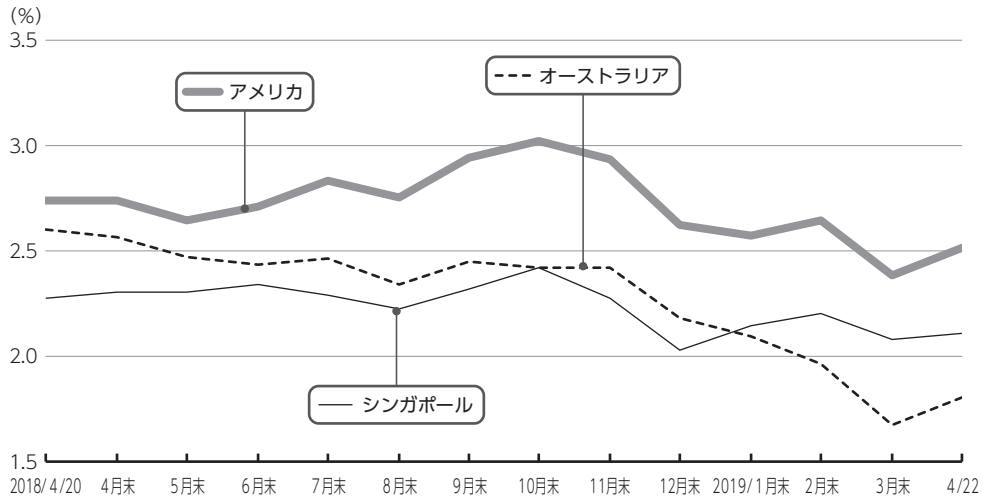
	2014/4/21 期初	2015/4/20 決算日	2016/4/20 決算日	2017/4/20 決算日	2018/4/20 決算日	2019/4/22 決算日
基準価額 (円)	10,526	11,549	10,508	10,419	10,624	11,232
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	9.7	-9.0	-0.8	2.0	5.7
参考指数騰落率 (%)	—	12.0	-5.4	-3.7	6.1	2.5
純資産総額 (百万円)	2,286	10,698	10,638	10,762	10,380	11,418

参考指数は、F T S E 世界国債インデックス (除く日本・円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第6期：2018年4月21日～2019年4月22日

## 投資環境について

### 金利の推移（月次）



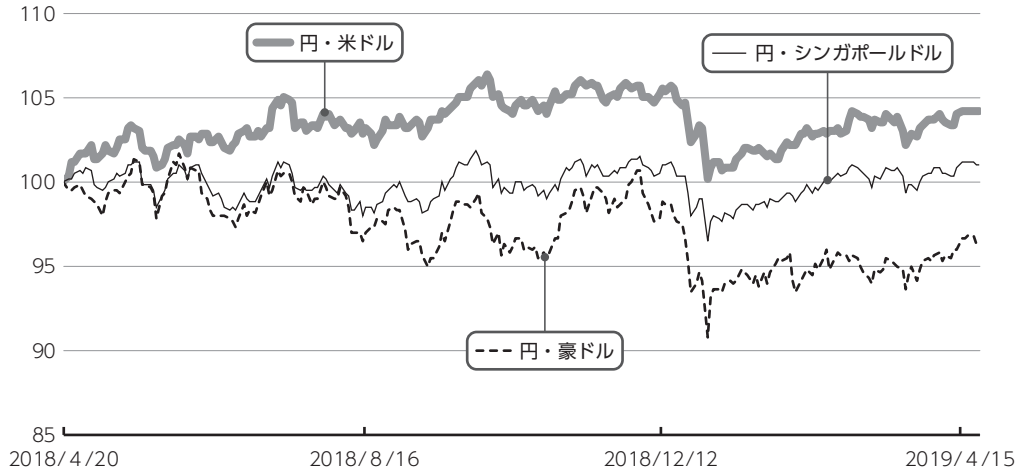
(注) F T S E 世界国債インデックスにおける各国の最終利回り。

### 債券市況

投資国（米国、シンガポール、オーストラリア）の金利は低下しました。2018年10月に米連邦準備制度理事会（F R B）議長が成長を加速も抑制もしない中立金利水準を超えて利上げを進める可能性を示唆したことなどを受けて、米国やシンガポールの長期金利が一時的に上昇する局面もありましたが、期首から2018年11月にかけて、投資国の長期金利は概ね横ばいで推移しました。その後、株式・原油市況の下落に伴う市場のインフレ期待の低下や世界経済の減速懸念等を背景に、米国やオーストラリアの中央銀行が

それまでの引き締めバイアスを中立的に変更したことなどから投資国の長期金利は低下基調で推移しました。

## 為替市況の推移 (期首を100として指数化、対円)



### ▶ 為替市況

米ドルとシンガポールドルは対円で上昇した一方、豪ドルは対円で下落しました。期首から2018年11月にかけて、本邦との金利差などから、米ドルとシンガポールドルは対円で上昇した一方、豪ドルは対円で概ね横ばいとなったものの、その後、2019年1月上旬にかけて、世界経済の減速懸念等を背景に、投資家のリスク回避的な姿勢が高まったことなどから、米ドル、シンガポールドル、豪ドルは対円で下落しました。期末にかけては、株式市場の上昇など市場のリスクセンチメントが改善したことなどから、米ドル、シンガポールドル、豪ドルは対円で上昇基調で推移した結果、期を通じてみると、米ドルとシンガポールドルは対円で上昇

した一方、豪ドルは対円で下落しました。



## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン (年1回決算型)

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。2019年2月までは米国、オーストラリアの2ヵ国で運用しました。3月にオーストラリアをシンガポールに入れ替え、入れ替えが完了した3月以降は米国とシンガポールの2ヵ国で運用しました。

### ▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

基準価額は期首に比べ7.0%の上昇となりました。

#### 投資国

2019年2月までは米国、オーストラリアの2ヵ国、3月にオーストラリアをシンガポールに入れ替え、入れ替えが完了した3月上旬以降は米国とシンガポールの2ヵ国で運用しました。

#### 通貨

2019年2月までは相対的に利回りが高いと判断した投資対象国（米国、オーストラリア）の中で、債券市場の流動性などを考慮し、米国へ重点配分しました。3月以降も、相対的に利回りの高い米国への重点配分を継続しました。

#### 金利

残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

#### 組入比率

期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。

前記の運用の結果、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となったものの、債券の利子収益を享受したことや、米国やオーストラリアの金利が低下したことなどから、基準価額は上昇しました。

(ご参考)

■ 利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2018年4月20日）		期末（2019年4月22日）	
最終利回り	2.7%	最終利回り	2.4%
直接利回り	3.0%	直接利回り	2.6%
デュレーション	6.1年	デュレーション	6.3年

- ・ 数値は債券現物部分で計算しております。
- ・ 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・ 直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・ 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・ デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

## (ご参考)

## ■債券の格付分布

期首 (2018年4月20日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	95.4%	66
AA格	2.3%	5
A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

期末 (2019年4月22日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	98.4%	46
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

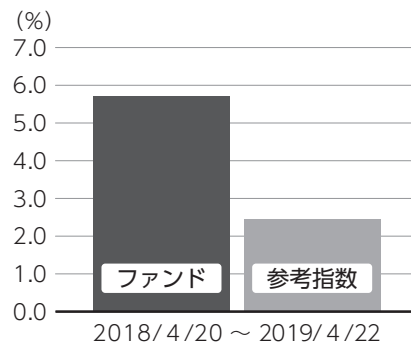
- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
  - ・AAA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
  - ・AA格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
  - ・BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
  - ・BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はR & I社、JCR社、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期 2018年4月21日～2019年4月22日
当期分配金（対基準価額比率）	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,080

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

## ▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン (年1回決算型)

### 今後の運用方針

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

## ▶ 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

### 運用環境の見通し

当面の米国とシンガポールの長期金利はもみ合う展開を想定します。米連邦公開市場委員会 (FOMC) は、インフレ圧力が抑制されている中で、世界経済の減速や金融環境引き締めなどへの懸念を背景に今後の金融政策については辛抱強く経済状況を精査していく姿勢を示しており、米国長期金利はもみ合う展開を見込みます。シンガポールの中央銀行に相当するシンガポール通貨庁 (MAS) は、半年に1度開催される2019年4月の金融政策決定会合で、インフレ見通しを引き下げながらも、現行の金融政策を維持したことなどから、シンガポール長期金利はもみ合う展開を想定します。

中国経済の減速懸念の後退や米中通商問題の進展期待などから、米ドルは対円で安定した推移になると考えます。また、MASが自国通貨高政策を維持していることなどから、シンガポールドルは対円で底堅い推移になると考えます。

### 今後の運用方針

#### 投資国

世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

#### 通貨

相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

#### 金利

ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

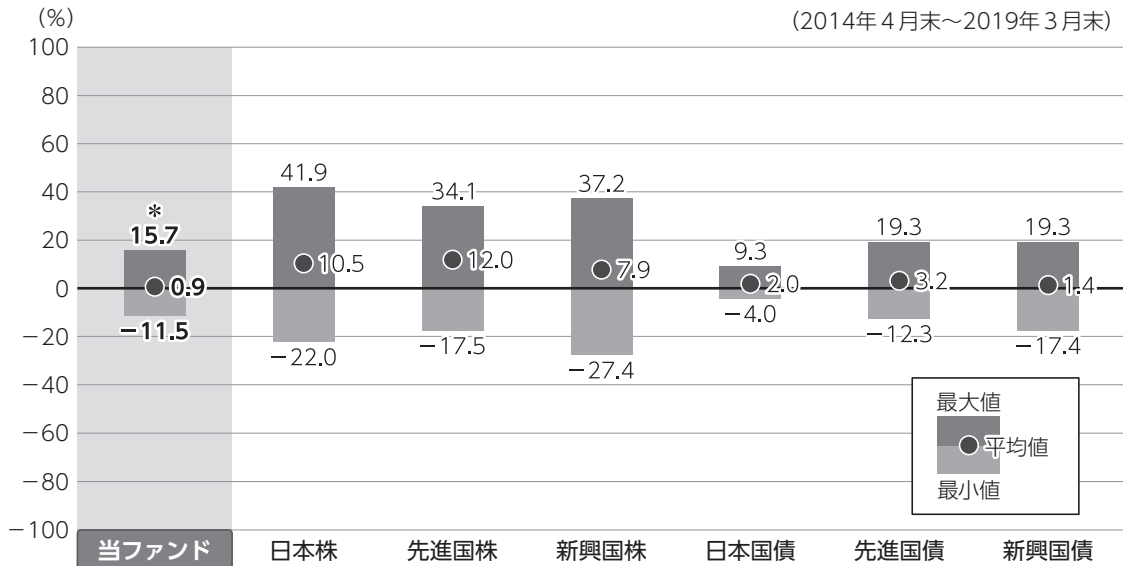
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2029年4月20日まで (2013年12月16日設定)
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。</p> <p>■三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド 世界主要国の債券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	世界主要国の債券を実質的な主要投資対象とし、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)</p>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年4月から2019年3月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2014年12月～2019年3月の同様の騰落率を表示したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。



# 当該投資信託のデータ

2019年4月22日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第6期末 2019年4月22日
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	99.8%

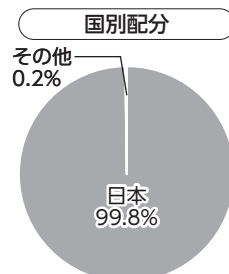
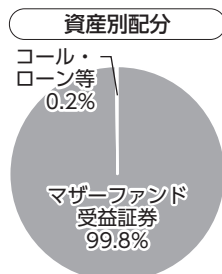
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第6期末 2019年4月22日
純資産総額 (円)	11,418,641,139
受益権口数 (口)	10,165,951,945
1万口当たり基準価額 (円)	11,232

※当期中において追加設定元本は1,860,296,779円  
同解約元本は 1,465,986,002円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

591801

2019年4月22日現在

## 組入上位ファンドの概要

### 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

#### 基準価額の推移

2018年4月20日～2019年4月22日



#### 1万口当たりの費用明細

2018年4月21日～2019年4月22日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	4	0.016
( 保管費用 )	(4)	(0.016)
( その他 )	(0)	(0.000)
合計	4	0.016

期中の平均基準価額は、22,743円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

#### 組入上位10銘柄

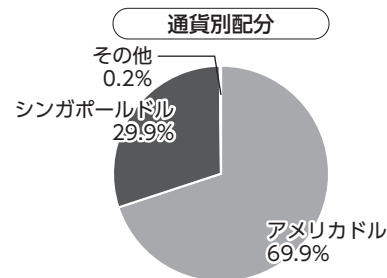
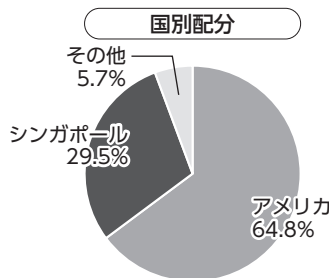
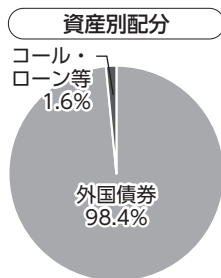
(組入銘柄数：46銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	2.625 T-NOTE 230228	債券	アメリカ	国債	6.1
2	2.625 T-NOTE 200815	債券	アメリカ	国債	5.0
3	2.375 T-NOTE 270515	債券	アメリカ	国債	4.9
4	1.75 T-NOTE 220430	債券	アメリカ	国債	4.9
5	2.75 T-NOTE 250228	債券	アメリカ	国債	4.5
6	3.125 T-NOTE 210515	債券	アメリカ	国債	4.5
7	2.25 T-NOTE 210215	債券	アメリカ	国債	4.4
8	3.5 T-BOND 390215	債券	アメリカ	国債	3.7
9	2.75 T-NOTE 280215	債券	アメリカ	国債	3.6
10	2.75 T-NOTE 231115	債券	アメリカ	国債	3.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

#### 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)』について

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● TOPIX (配当込み)

TOPIX (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (TOPIX) に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX (配当込み) に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX (配当込み) の算出もしくは公表の停止またはTOPIX (配当込み) の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出して公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信